

トランスジェンダー 性は“心の性”で決まります

を知っていますか？
 さまざまな性のあり方が暮らしやすいよう、社会も変化しつつあります

日常生活と結びつけられている「性」

トイレ

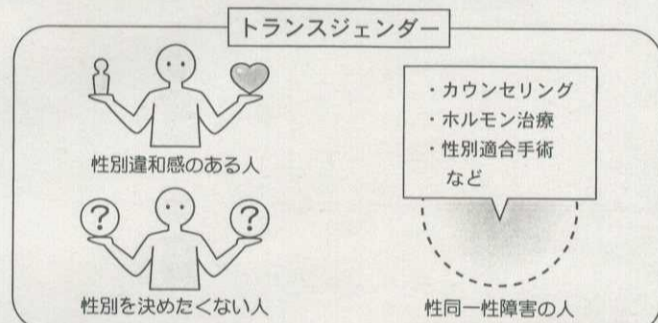


心の性と体の性

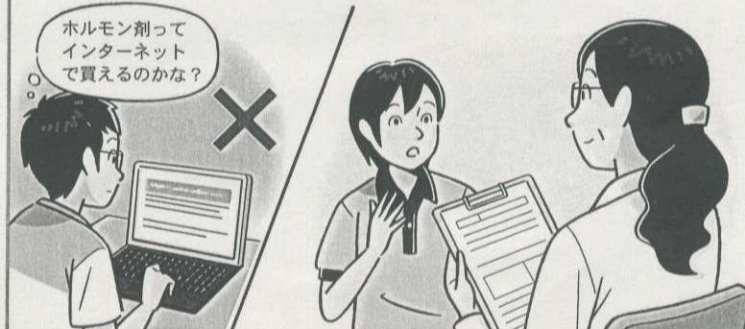


多くの人は、生まれた体の性と心の性が同じですが、中にはそれが一致せず、体の性に違和感を持つ人もいます。

性同一性障害とは



トランスジェンダーの人の中で、医療による援助を必要としている場合に「性同一性障害」と診断されます。



治療は、必ず専門家に相談したうえで行うことが重要です。

服装

呼び名

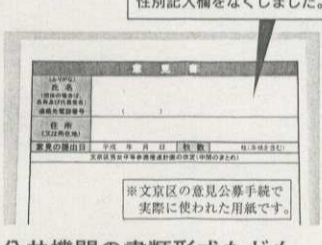
書類



近年では制服を選べる学校も増えています。



男女ともに「さん」づけに統一している学校もあります。



公共機関の書類形式なども、不要な性別記入欄の廃止が進められています。

性別違和感を抱えて生活している人が生活しやすいよう、社会の変化が求められています。

自分の性はどんな性？



- ・言葉づかい
- ・ファッション
- ・就職
- ・恋人
- ・結婚

性のあり方はその人自身のあり方と深く関わるものであり、人それぞれ異なります。



「本来の自分と違う」と感じる性で過ごすことは、生きづらさにつながる可能性があります。

多様性を認め合う社会へ



さまざまな性のあり方を認め合うことは、すべての人の「自分らしさ」を生かすことにつながります。



勝手に他人に話すのはやめましょう。

友だちに相談されたときは、相手の気持ちに寄り添って行動しましょう。

通常の「男・女」の枠に当てはまらない性のあり方、またはそのような性のあり方をする人をトランスジェンダーといいます。その中で、医療による援助が必要な場合を、性同一性障害と診断し、本人の性のあり方に合わせた治療が行われます。自分の性別に違和感を抱えたまま生活をすることは、生きづらさにつながることもあるため、誰もが自分らしい性のあり方で過ごせるよう社会が変化しつつあります。

指導 ちあきクリニック院長 松水千秋先生

困ったり辛かったら 相談しよう